

## ベナン月例報告（2013年3月）

### 1. 内政

- ・ 12日、ヤイ大統領は、公務員の賞与を削減する意向を示した。ベナンの公的部門における給与水準は、他の UEMOA（西アフリカ経済通貨同盟）諸国と比較して平均水準にあるのに対し、賞与は極めて高い水準にある。ベナンの公的部門への人件費支出は歳出の47%に上り（UEMOA は35%を望ましい水準と定めている）、賞与を削減することにより、この水準を UEMOA が定める水準に下げねらい。
- ・ 12日、ウエメ・プラトー（Ouémé-Plateau）県立病院の職員らが、同僚が不法に逮捕されたと抗議し、72時間のストライキに入った。
- ・ 14日、1979年、1992年、2002年に引き続き、第4回目となるベナン国勢調査が実施されることになり、ドウ・スザ（M.Marcel de SOUZA）開発・経済分析・未来計画大臣が実施委員会を正式に立ち上げた。同調査は4月15日から29日までの2週間で実施される予定。
- ・ 24日、ベナン石油製品販売公社（SONACOP : la Société nationale de commercialisation des produits pétroliers）の労働組合は、同公社のウス（M.Expédit HOUSSOU）総裁の不適切な運営を訴え、同氏の解任を求めた。
- ・ 26日、カンデ・ガザル（Mme.KINDE-GAZARD）保健大臣は、ラギューン母子病院（HOMEL:l'Hopital de la Mère et de l'Enfant Lagune）のフンポヌ（Mme. Prudencia HOUNPONOU）病院長を始めとする病院関係者と会談した。両者は、日本の支援を受けた同病院整備計画で問題となっているガス管配管工事等の進捗状況等について協議した。

### 2. 外政

- ・ 2月27日から3月4日まで、ヤイ大統領は日本を訪問し、天皇皇后両陛下や安倍晋三首相と会談を行った。第5回アフリカ開発会議（TICADV）や二国間関係等について意見交換を行った。
- ・ 7日、ベネズエラのチャベス（M.Hugo CHAVEZ）大統領の訃報を受けて、ヤイ大統領は在ベナン・ベネズエラ大使館を訪問し、その功績に敬意を表した。
- ・ 8日及び9日、コートジボワールのウワタラ（M.Alassane OUATTARA）大統領及び同夫人がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。両者は、二国間強化、特に二国間経済協力委員会の活性化、エネルギー、鉱物、観光、ICT 分野での協力関係強化の必要性について合意した。
- ・ 11日、ヤイ大統領は塚原駐ベナン日本大使と会談し、東日本大震災の被害者に対する哀悼の意を表すると共に、2月27日から3月4日の訪日に関し感謝を述べた。
- ・ 12日から14日、ヤイ大統領はトルコを訪問した。ギュル（M.Abdullah GUL）

大統領、チチェッキ（M.Cemil CICEK）国会議長等の政府要人及びトルコ実業家産業連合（TUSKON）等と会談し、農業、開発技術協力、経済、貿易等に関する二国間協定、両国における大使館の開設、及び二国間貿易等について意見交換を行った。

- ・ 17日、ダ・シルバ（M.Luis Ignacio Da SILVA）元ブラジル大統領がベナンを訪問した。ヤイ大統領と会談し、二国間協力等について意見交換を行った。
- ・ 25日、ヤイ大統領は、BRICs 首脳会議に出席するため、南アフリカを訪問した。

### 3. 経済

- ・ 7日、アフリカ諸国で自動車販売を手がけるファドウル（Fadoul）グループのファドウル（M.Zouhair Michael Fadoul）会長がベナンを訪問し、ヤイ大統領と会談した。同会長は、コトヌ港にアスファルト貯蔵倉庫を整備するため10億 FCFA を投資する旨発表した。ベナン港を西アフリカのアスファルト供給拠点にする狙い。同企業は近年、ベナンにおいて、ミセレテ（Misséréte）・ダンボ（Dangbo）・アジョウン（Adjohoun）・ボヌ（Bonou）・ペデポ（Kpédékpo）間を結ぶ道路整備を行った。
- ・ 8日、世界銀行は、同銀行が支援するベナンの財政改革につき、直近2年間の評価を行い、86%の指標が目標値に達している旨発表した。しかしながら、ガバナンズ等いくつかの指標においては改善が見られず、さらなる改革が必要である旨付け加えた。
- ・ 12日、バニコアラ（Banikoara）市（Founougo）周辺で、住民が金鉱を発見した。
- ・ 23日、仏のボロレ（Bolloré）グループは、コトヌ港の同グループのターミナルに2基のガントリークレーンを設置した。

### 4. 開発・協力

- ・ 4日、フランス語圏アフリカ諸国司法官第5回会合（AA-HJF : Association Africaine des Hautes Juridictions Francophones）が、ポルトノボ（Porte-Novo）で開催された。33カ国から約200人の司法官が集まった。
- ・ 11日、塚原駐ベナン日本大使及びトリ（M.Gilnert TOLLI）NGO・OADD 代表は、日本が草の根無償資金協力の枠組でセヘ・アガ（Sèhè-Aga）に建築した小学校の引渡式を行った。
- ・ 14日、タオ（M.Tao Weiguang）駐ベナン中国大使、ソグロ（M.Léady Soglo）コトヌ副市長、アハンハンゾ・グレレ（M.Blaise Ahanhanzo-Glèlè）環境・住宅・都市計画大臣は、現在コトヌ市フラコジ（Xwlacodji）地区にある中国経済開発センターをベノポ（Gbénonkpo）地区に拡張する旨合意した。実現すれば西アフリカ最大の中国商業センターになる。工期は2年、総工費は200億 FCFA になる見通し。
- ・ 18日、塚原駐ベナン日本大使及びバコ・アリファリ（M.Nassirou BAKO-ARIFARI）

外務・アフリカ統合・仏語圏・在外ベナン人大臣は、約60億FCFAに上るノン・プロジェクト無償資金協力を署名した。同無償資金協力は、ベナンの社会・経済開発のために役立てられる。

- ・ 18日、中国により2520台のエアコンがアボメ・カラヴィ（Abomey-Calavi）大学に贈られ、アビオラ（M.Francois ABIOLA）高等教育・科学研究大臣及びタオ駐ベナン中国大使が引渡式に出席した。
- ・ 19日、コトヌにおいて、ギニア湾海賊対策のためのECOWAS閣僚級会合が開催された。同会議では、効果的な海賊対策の実施のため、ECOWAS諸国間の協力を強化する旨合意された。
- ・ 22日から24日、USAIDはコトヌにおいて、西アフリカ繊維物産展を開催した。これは、各国の職人たちによる西アフリカ地域での新たな市場開拓及び商品開発を目的とする。

## 5. 社会

- ・ 19日、ナティティング（Natitingou）においてバス事故が発生し、9人の死者、14人の負傷者が出た。